

Japan Handball Association



社会人  
 学生  
 高専  
 高体連  
 中体連  
 小学生  
 県協会

全国大会  
 ブロック大会  
 都道府県大会  
 地区大会

男子  
 女子

試合番号 **山鹿-女45**

年月日 2019年8月8日(木)  
 大会名 令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A 明光学園高等学校					B 県立那覇西高等学校									
熊本県		山鹿市			山鹿市総合体育館				準決勝					
前半	A 7	B 7	最終結果	A 24	B 15	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m20-37分	A	B
7m得点/総数	A 1/1		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 0/0		7m得点/総数			
			1 2343	2	3		1 2926	2 後半 0610	3					

No.	明光学園高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	県立那覇西高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
1 C	柿添 まどか							1	比嘉 楓						
2	岡崎 睦叶							3	外間 希衣菜	1					
3	尾辻 曜							4	久場川 かりん			1			
4	平田 萌華	2						6	宮里 磨帆						
5	長谷川 真子	2						7 C	金城 有華						
6	白石 理子	5		1				8	東江 優希						
7	村上 楓	3						9	喜納 歩菜	3					
8	松永 愛加	8		1				10	仲真 愛賀						
9	中園 愛子	4						11	砂川 茉穂	2					
10	山脇 みなみ							12	仲宗根 鈴珠						
11	長沼 璃羽							13	上地 汐杏蘭	6	1				
12	森 佑香子							15	宮城 奈月	1		1			
13	池畑 咲和							18	金城 菜々子	2					
16	木戸 菜つ子							20	山田 くれあ						
役員A	西窪 将志							役員A	比嘉 律						
役員B	瀧越 美穂							役員B	新垣 健						
役員C	西窪 勝広							役員C	与那嶺 直樹						
役員D								役員D							

A **西窪 将志** チーム役員A署名 B

レフェリー	安田 寛	永春 文毅	安田 寛	永春 文毅
TD	宮田 政克	稲津 憲二	宮田 政克	稲津 憲二
MO	中山 学		中山 学	



令和元年度全国高等学校総合体育大会  
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

## 戦評

開催日	2019年 8月 8日 木曜
会場	山鹿市総合体育館
種別	女子
回戦	準決勝戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
	24	明光学園	24	7 - 7	15
後半					
17 - 8					
第1延長					
—	—	—	第2延長	—	7MC
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半
	<p>女子準決勝第一試合、明光学園と那覇西の九州勢同士の一戦は那覇西の、スローオフで試合開始。那覇西は喜納のカットインで先制するが、明光学園も白石のカットインで応戦する。その後1点ずつを取り合い、6分過ぎ明光学園村上のミドルシュートで1点をリードする。その後12分過ぎまで両チームのディフェンスの頑張り、GKの好セーブにより得点を伸ばすことができずに膠着した展開となる。12分過ぎ那覇西上地のミドルシュートで同点になったところでゲームが動き出す。その後、互いに速攻、ミドルシュート等で得点を奪いに行くが、両チームGKの好セーブにより、5分以上得点することができない。終盤両チーム速攻の応酬となったが、得点することができず、前半を7対7の同点で折り返した。</p>
後半	<p>後半に入ると明光学園の攻撃にリズムが出始め、6分過ぎまでに4点を奪う。一方那覇西も砂川のサイドシュートや上地のミドルシュートなどで追い上げを図るが、8分過ぎに退場者を出し4点差となる。那覇西はミドルシュートやサイドシュートで得点を上げるも、明光学園の堅いディフェンスの前に得点を伸ばすことができず、12分過ぎから8分間無得点が続く。その間明光学園は松永、白石らの速攻で5連取し、さらに点差を広げる。その後互いに点を取り合う展開となったが、終盤以降明光学園に速攻が出始め徐々に点差が広がる。終盤、明光学園に退場者が立て続けに出ると那覇西はマンツーマンディフェンスを仕掛け、速攻につなげたいところであったが得点を奪えず、24対15で試合終了。明光学園が勝利し、決勝へ駒を進めた。</p>

記入者

四宮 一郎